

(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

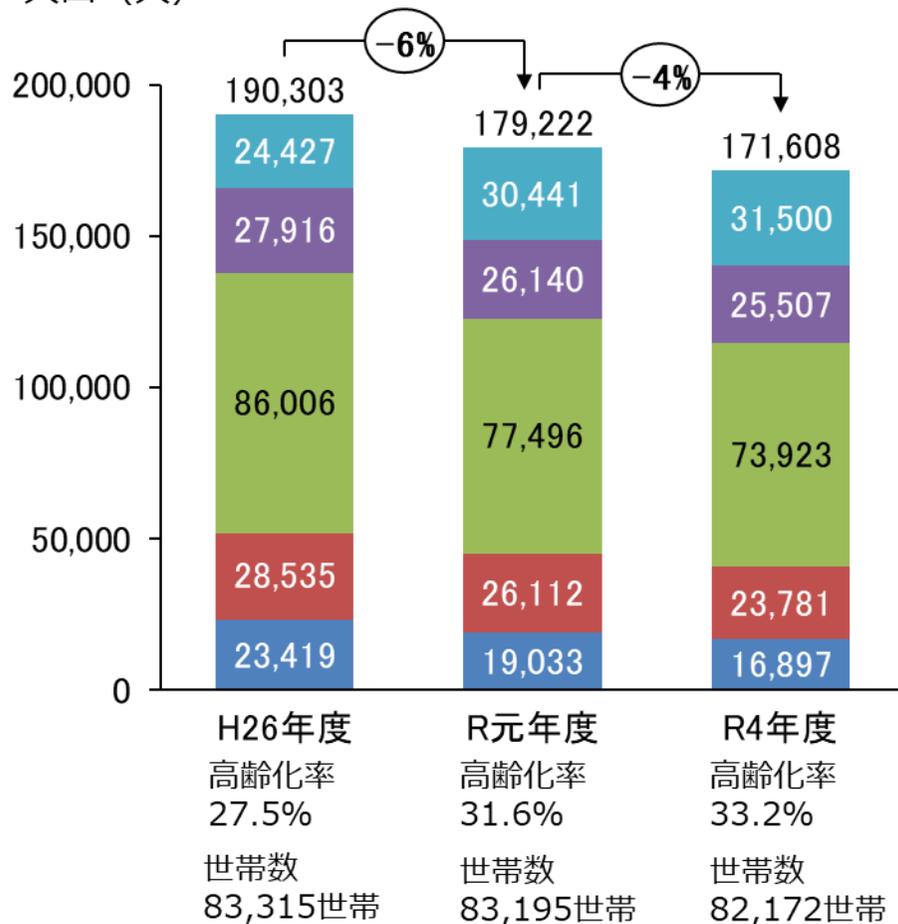
【市内の現状調査結果】 ①地域別人口の推移

- 総人口は減少傾向にあり、令和4年度は平成26年度と比較し約18千人減（10%減）
- 高齢化は進行しており、西部、塙山、金沢、台原は高齢化率43%、後期高齢化率28%を超えている

総人口

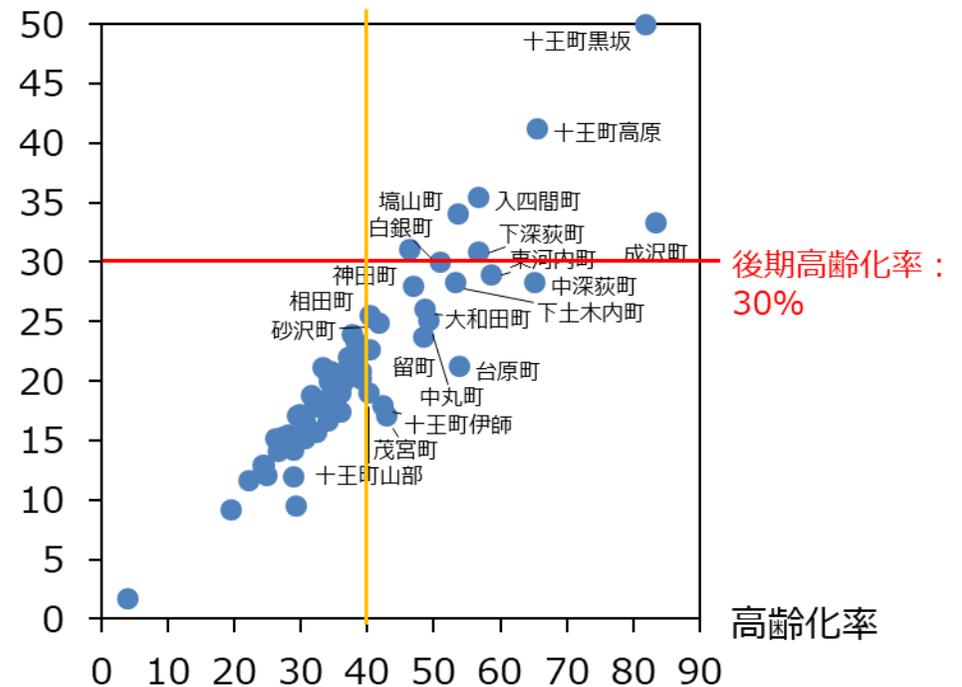
地区別高齢化率（2022年）

人口（人）



後期高齢化率

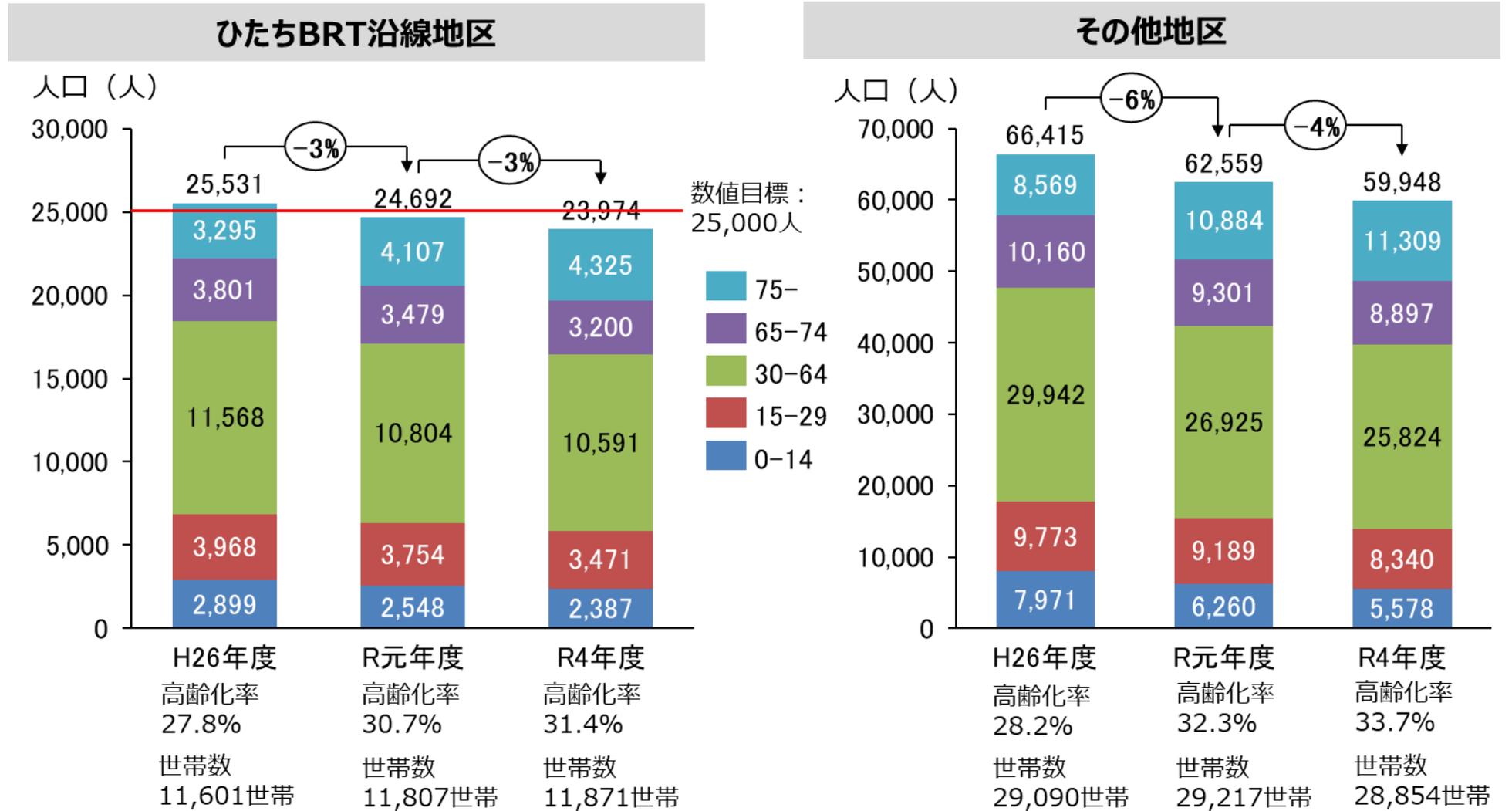
高齢化率：40%



(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【市内の現状調査結果】 ①地域別人口の推移

➤ BRT沿線地区は、他の地区と比べて人口減少が鈍化（BRT沿線：H26比6%減、その他：H26比10%減）

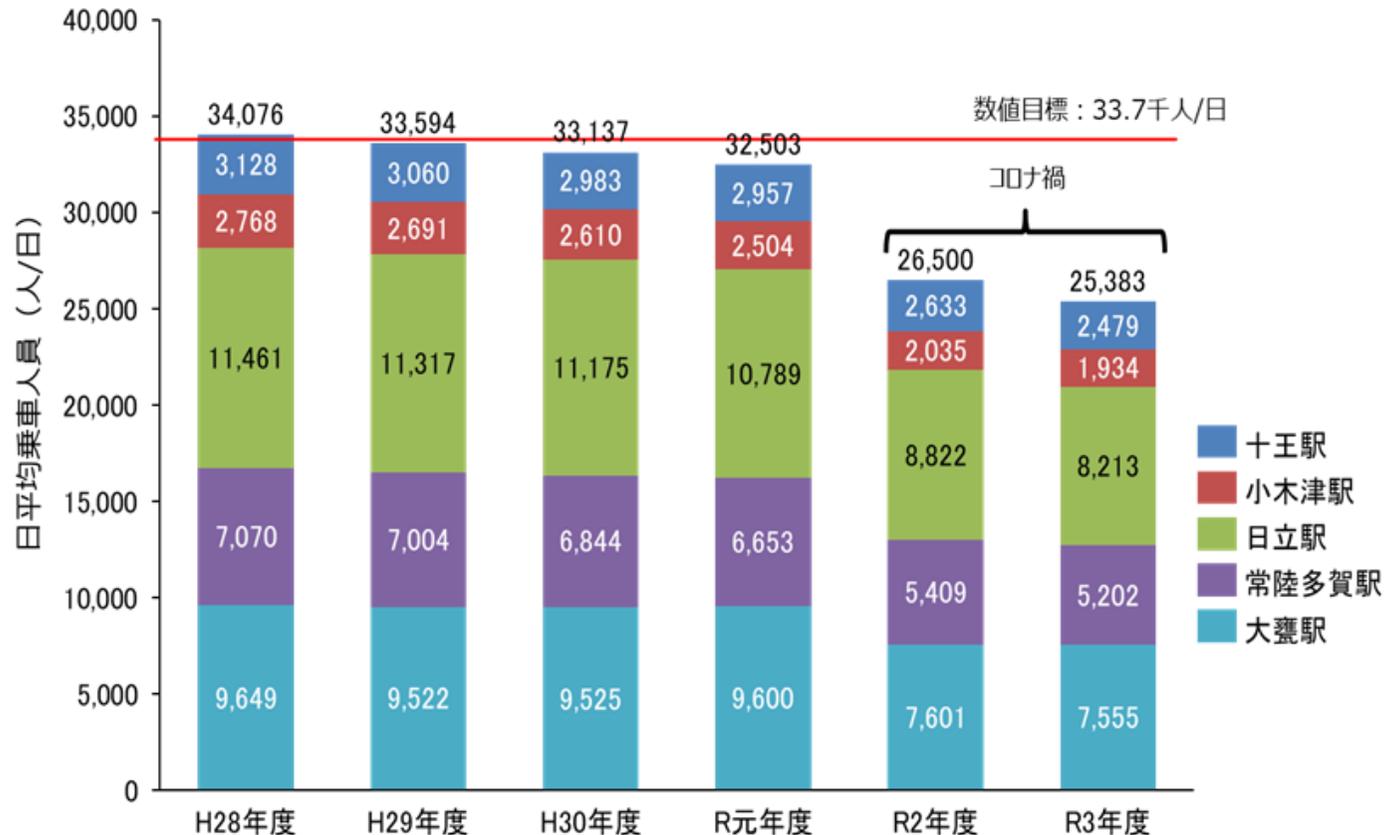


(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【市内の現状調査結果】 ②市内鉄道駅乗車人数

➤ 日平均乗車人員は、コロナ禍前より減少傾向（R元年度はH26年度と比較し3%減、R3年度は24%減）

鉄道駅別 日平均利用者の推移

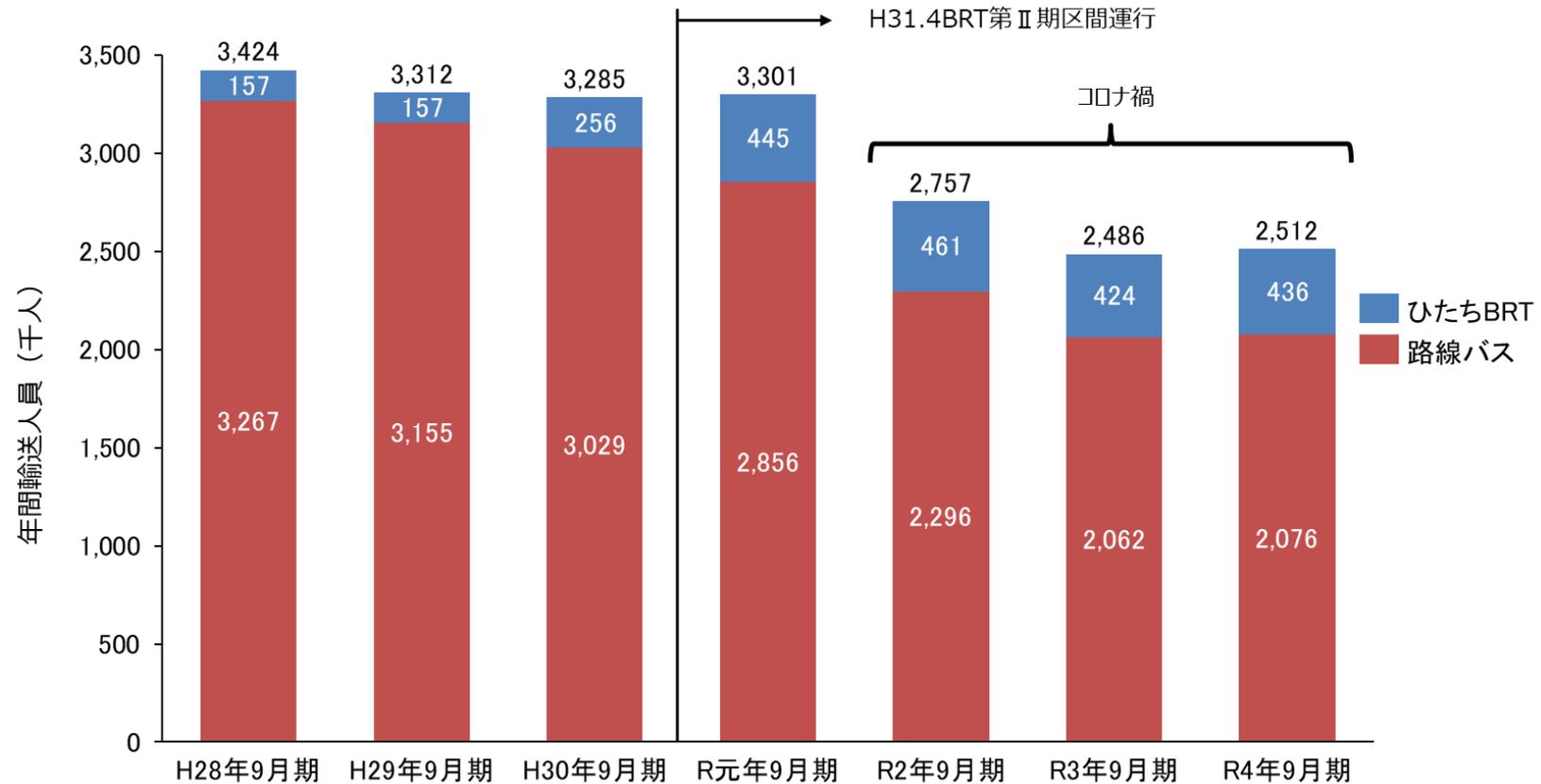


資料：東日本旅客鉄道「各駅の乗車人員」路線別ご利用状況

(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【路線バス利用状況調査】 ③茨城交通の利用状況等

- コロナ禍前から減少傾向（R元年度：15%減（H26年度比）、R3年度：28%減（R元年度比））
- 現在も、コロナ禍前の水準までは回復していない。
- ひたちBRTは、第Ⅱ期区間開業等により、コロナ禍前は利用者が増（R元年度：318%増（H26年度比））
- 一方で、コロナ禍では利用者が減少したが、他路線よりは減少割合が小さい（R3年度：5%減（R元年度比））



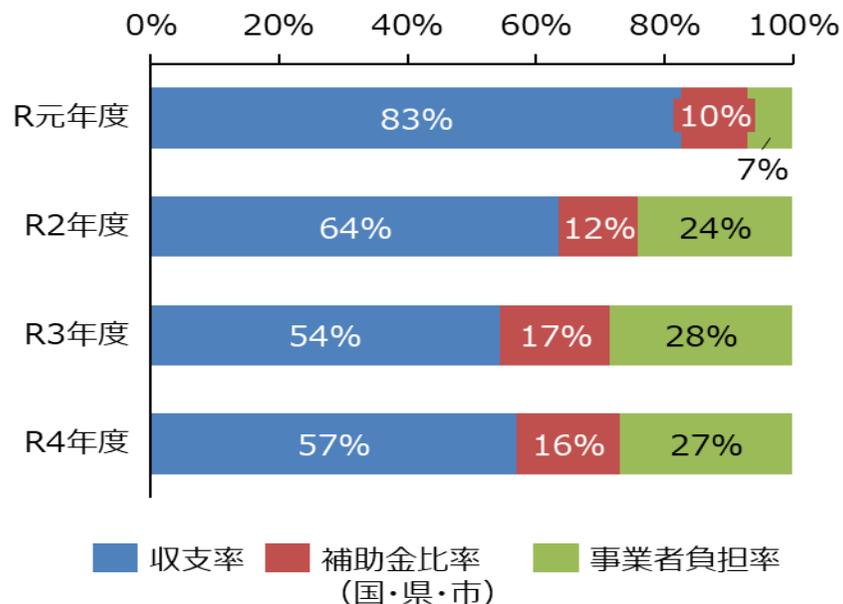
※各年度は10月～9月の合計値

(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【路線バス利用状況調査】 ③茨城交通の利用状況等

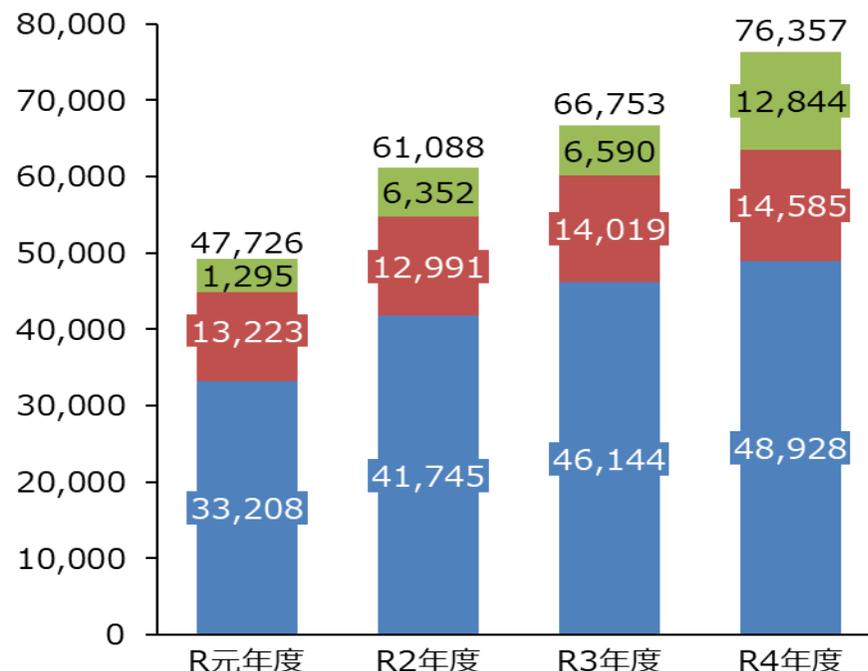
- コロナ禍前から、運賃収入のみでは運行経費を賄えない路線について、国庫補助や市補助により運行を維持
- 補助を受けても赤字となる路線がある状況

収支状況



日立市補助金推移

補助金 (千円)

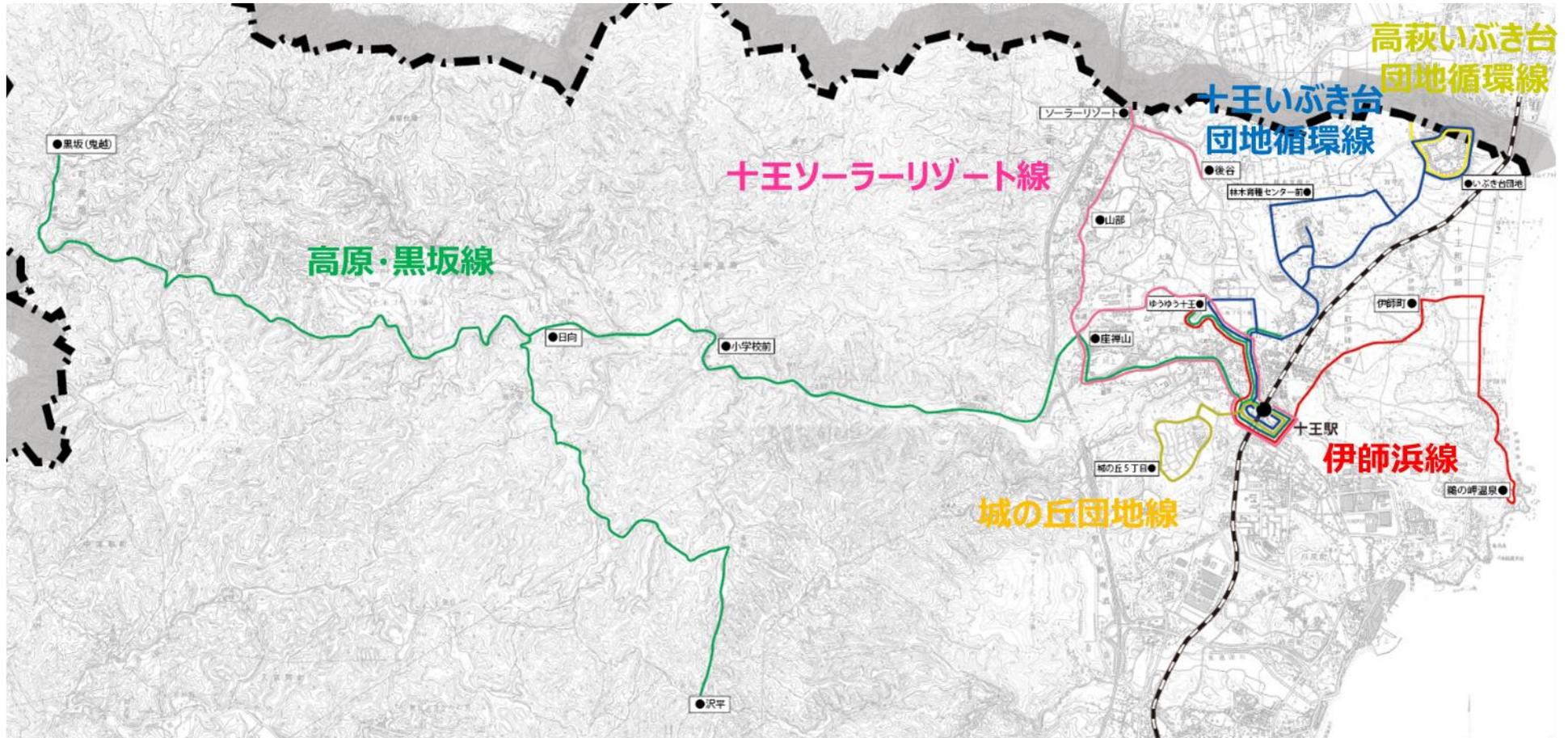


- 日立市市民生活バス路線確保対策事業補助
- 地方バス路線維持費補助
- 茨城県バス運行対策費補助金に係る補助

※茨城県バス運行対策費補助金に係る補助の内、小中里川線に対する補助額は除く

(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【路線バス利用状況調査】 ④ 椎名観光バスの利用状況等

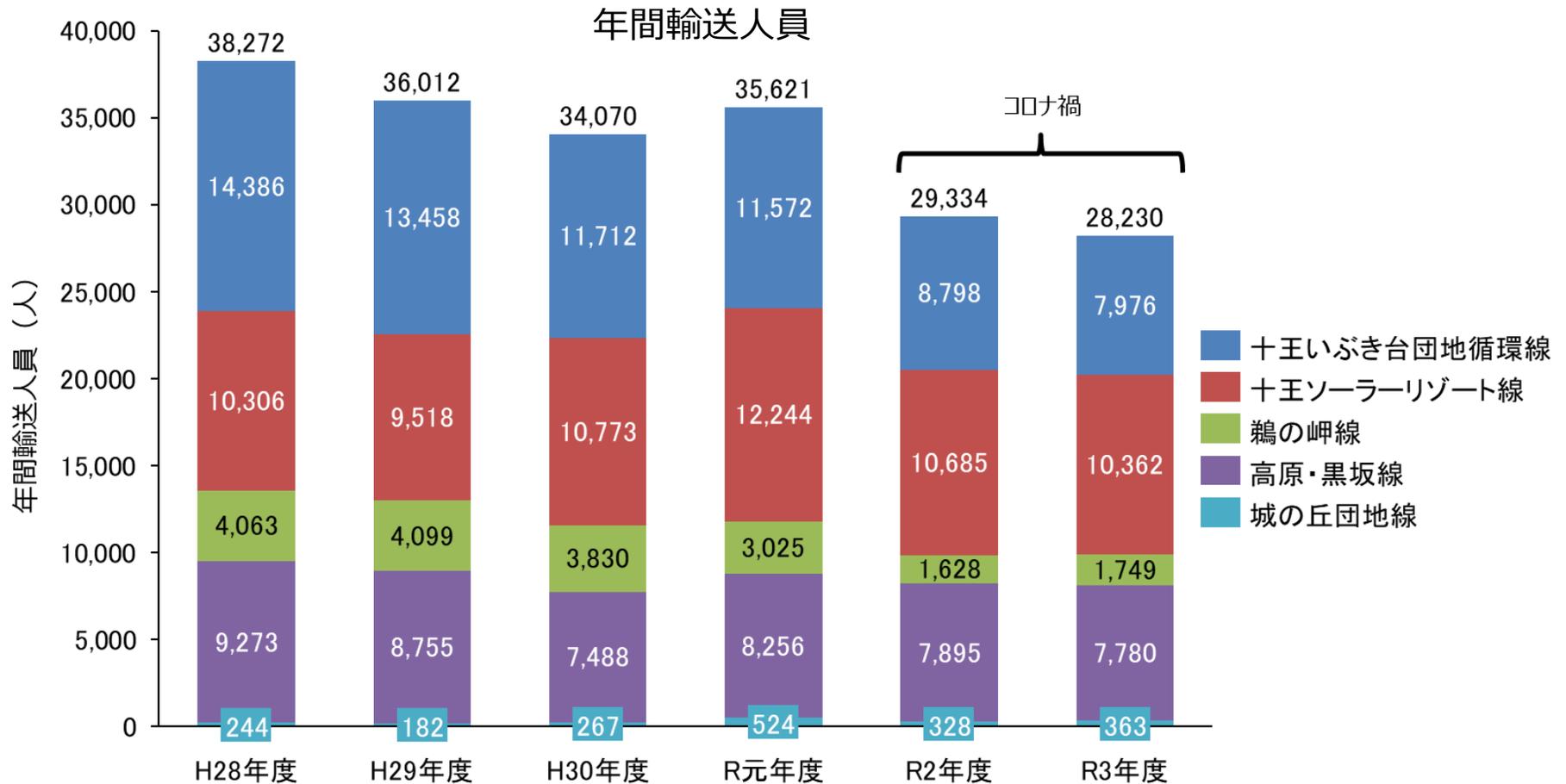


- 高萩いぶき台団地循環線の運賃は対キロ区間制
- その他5路線の運賃は均一料金（1乗車大人210円）

(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【路線バス利用状況調査】 ④ 椎名観光バスの利用状況等

- コロナ禍前から減少傾向（R元年度：25%減（H26年度比）、R3年度：22%減（R元年度比））
- 現在もコロナ禍前の水準までは回復していない。

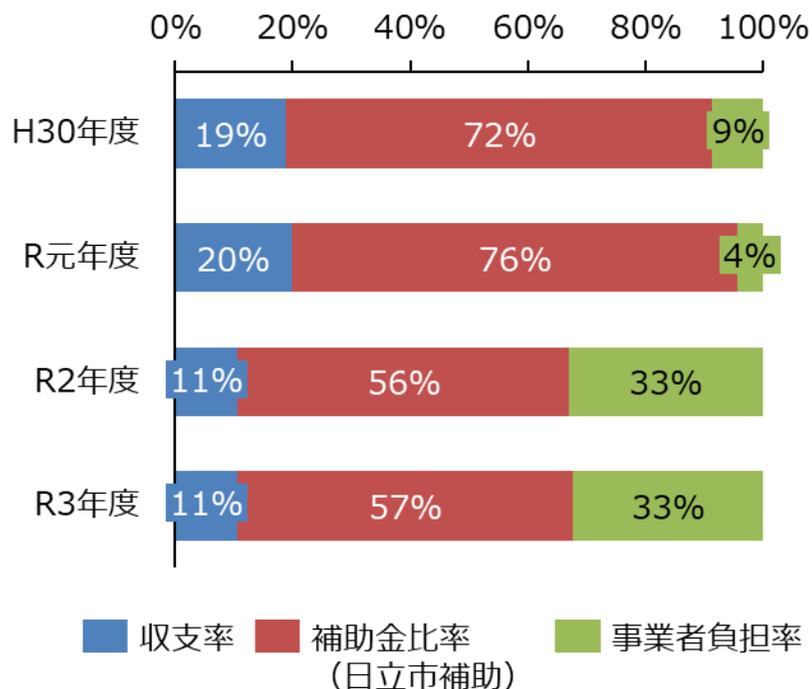


(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

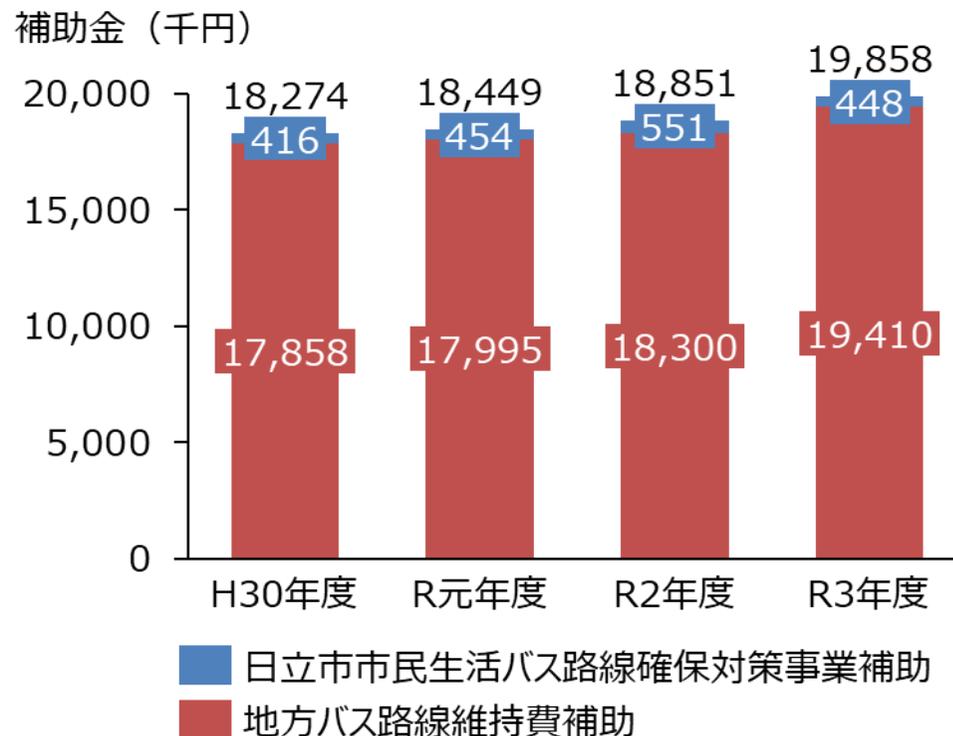
【路線バス利用状況調査】 ④ 椎名観光バスの利用状況等

- コロナ禍前から、運賃収入のみでは運行経費を賄えない路線について、市補助により運行を維持
- 補助を受けても赤字となる路線がある状況

収支状況



日上市補助金推移



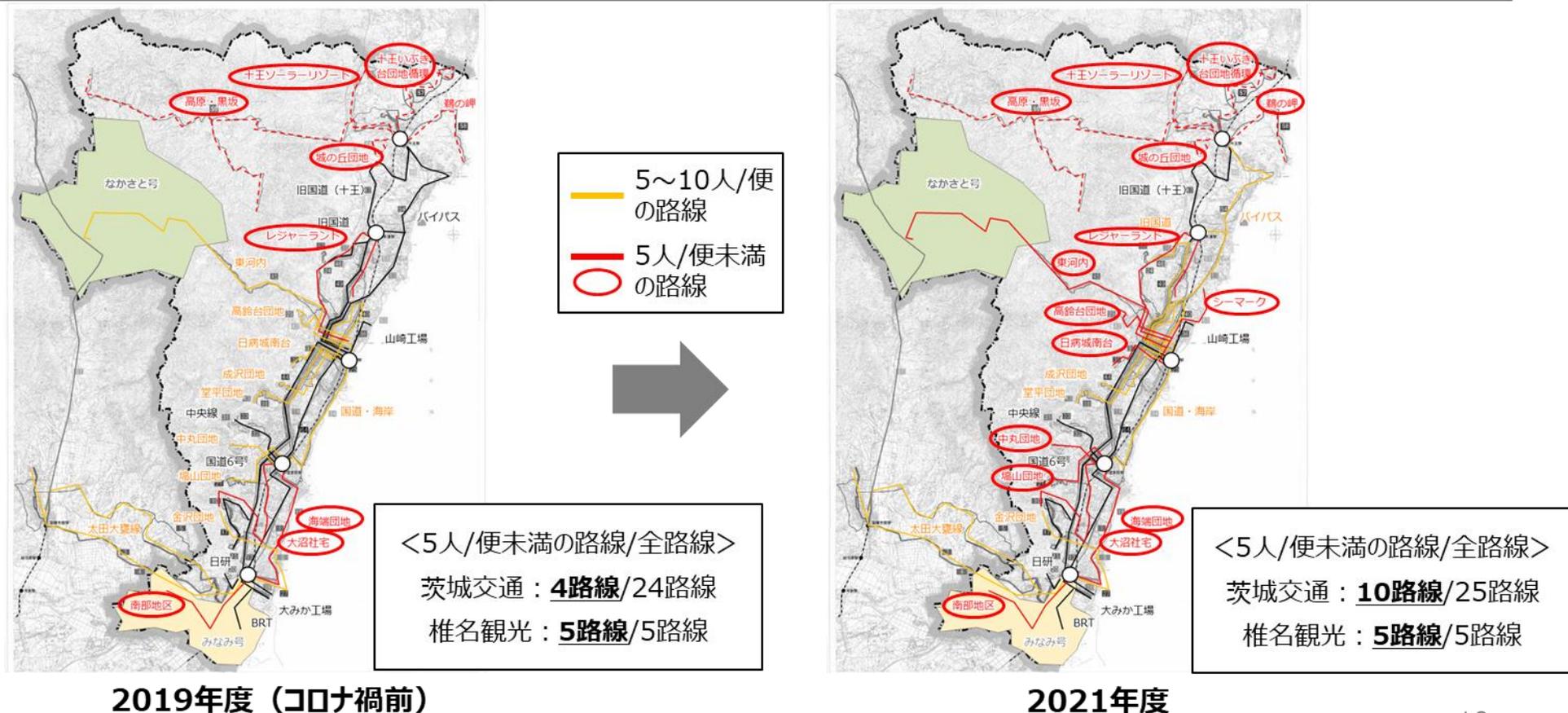
(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【路線バス利用状況調査】

利用者数が少ない生活路線は、利用状況に応じた運行の見直しが必要

- 生活路線を中心にコロナ禍前から10人/便の路線が存在し、その内4路線は5人/便未満。
- 人口状況の変化やコロナ禍の影響により5人/便未満の路線が山側団地の路線で増加。

便当たりの利用者数が少ない路線



※ 茨城交通は10～9月の合計、椎名観光バスは4～3月の合計

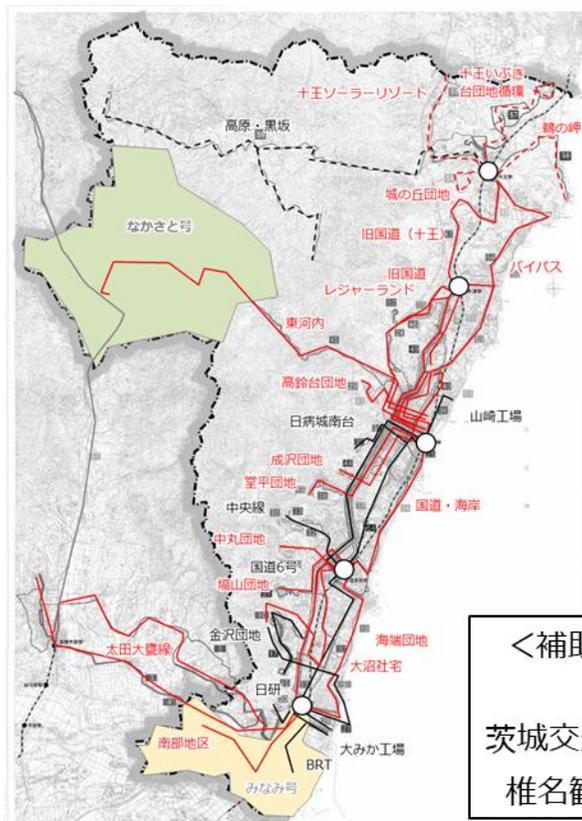
(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【路線バス利用状況調査】

コロナ禍前からの赤字路線の見直しと収支が悪化した路線の運行の効率化が必要

- 生活路線を中心にコロナ禍前から補助控除後の赤字路線が20路線。
- 人口状況の変化やコロナ禍の影響により赤字路線が22路線に増加。また、運送収入がコロナ禍前から20%以上減少した路線が20路線。

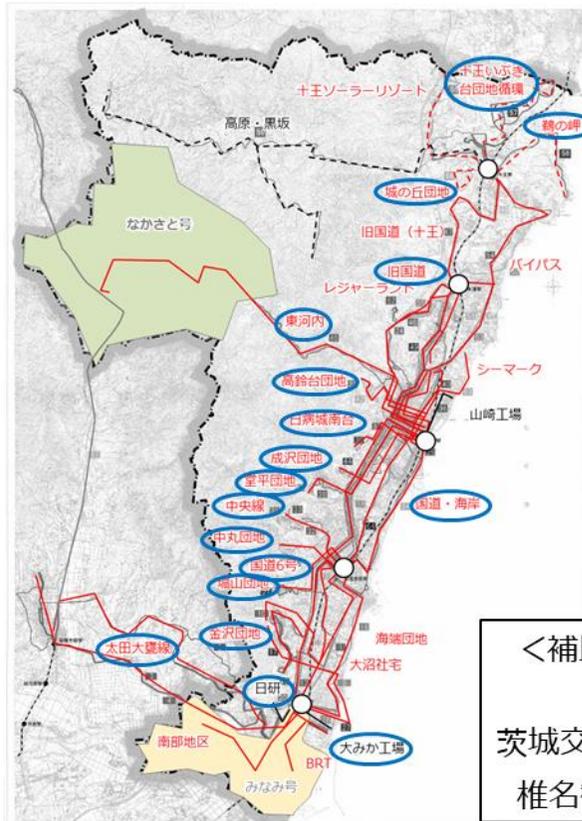
補助控除後の赤字路線



補助控除後の赤字路線

＜補助控除後の赤字路線 / 全路線＞
 茨城交通：16路線/24路線
 椎名観光：4路線/5路線

2019年度（コロナ禍前）



運送収入の2019年度比が20%以上の減少した路線

＜補助控除後の赤字路線 / 全路線＞
 茨城交通：22路線/25路線
 椎名観光：4路線/5路線

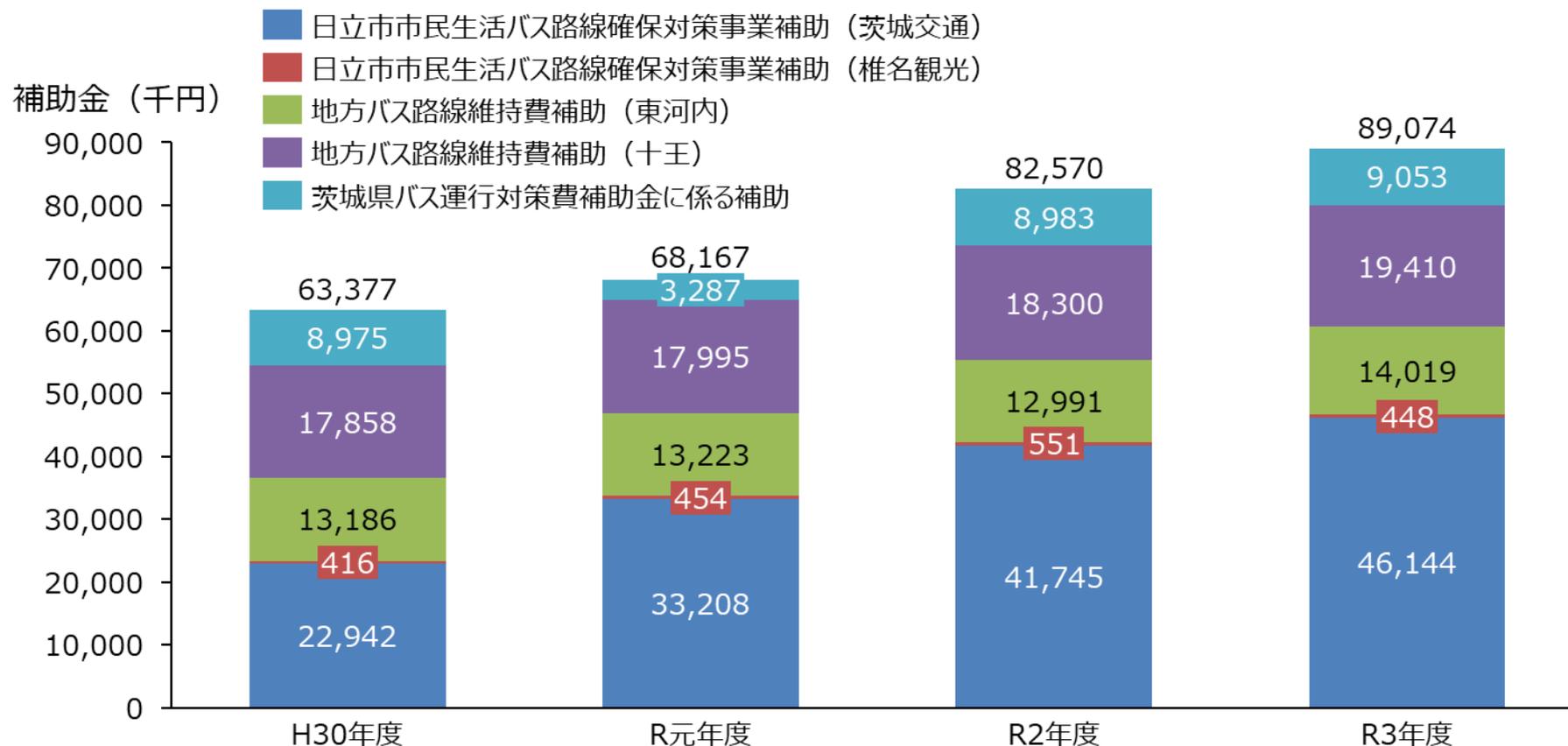
2021年度

※ 茨城交通は10～9月の合計、椎名観光バスは4～3月の合計

(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【路線バス利用状況調査】 ⑤市補助金の推移

日上市補助金推移



・令和元年4月のレジャーランド線の見直しによる補助額増加（半年分）

・見直し後のレジャーランド線補助負担が発生（1年分）
 ・令和2年4月から南部地区線の朝2便を補助対象に追加（半年分）

・レジャーランド線と南部地区線の朝2便の1年間分の補助負担が発生

(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【地域公共交通利用状況調査】⑥地域公共交通の運営状況（なかさと号）

運行概要

運行主体	● 特定非営利活動法人 助け合いなかさと
運送種別	● 自家用有償運送（公共交通空白地有償運送）
運行形態	● デマンド運行 ● 前日の午後4時まで電話による利用予約
車両	● 8人乗りワゴン車2台
運行便	● 平日の1日4便（下表）
乗降区間	● 中里地区内の移動 ● 中里地区内⇔地域外の指定場所（日立市役所、鞍掛山霊園、多賀市民会館、折笠スポーツ広場、十王スポーツ広場）
運賃	● 高校生以上：300円 ● 小・中学生：150円 ● 未就学児：無料 ※運賃は往復分
その他	● 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統）

時刻表	
◆中里交流センターを出発する時間	
午前	午後
8:30	13:00
10:00	14:30

運行区域

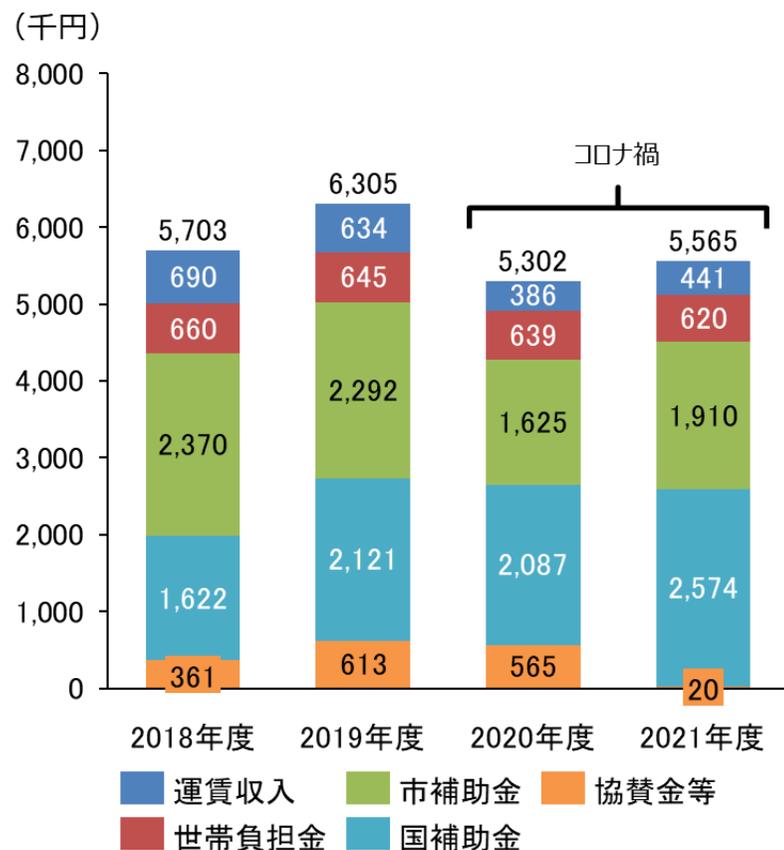


(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

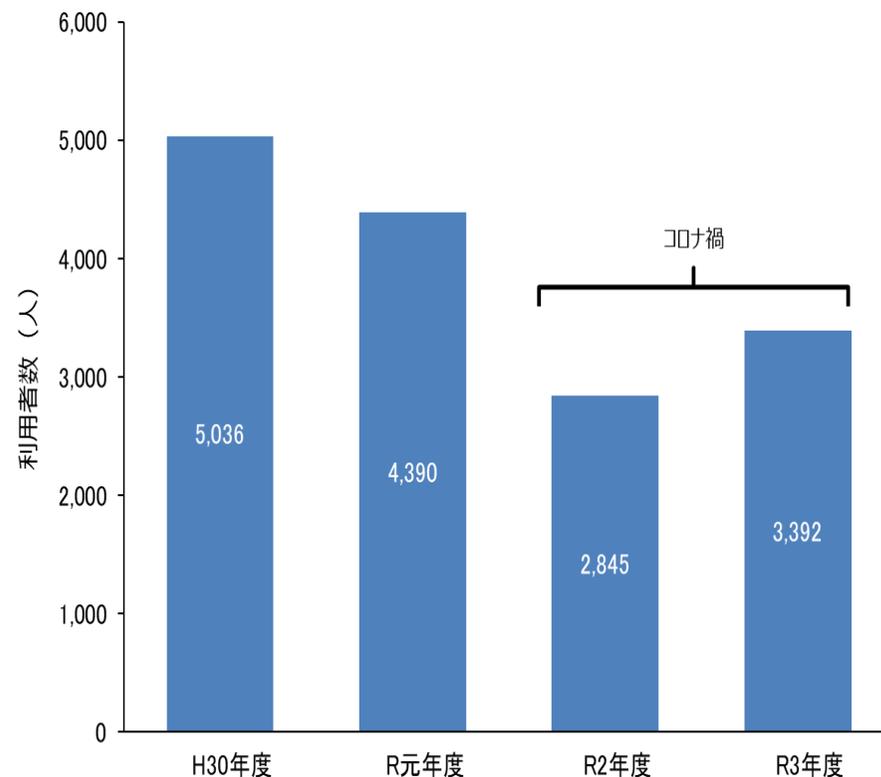
【地域公共交通利用状況調査】⑥地域公共交通の運営状況（なかさと号）

- コロナ禍前から減少傾向（R元年度：22%減（H26年度比）、R3年度：22%減（R元年度比））
- 沿線地域の人口、世帯数の減少により、世帯負担金の支払世帯数も減少傾向

収入状況



利用状況



(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【地域公共交通利用状況調査】⑥地域公共交通の運営状況（みなみ号）

運行概要

- 2022年4月に定時定路線の乗合タクシーからデマンド運行へ切替

運行主体	● 坂下地区みなみ号運営委員会
運送種別	● 一般乗合旅客自動車運送事業（区域運行）
運行形態	● デマンド運行 ● 電話で当日の1時間前までに予約、8時台の運行は前日予約
車両	● 9人乗りワゴン車 1台
運行便	● 平日の8:00～16:00 ● 利用者は希望時間帯（下表）を選択
乗降区間	● 運行区域内の乗降場所
運賃	● 大甕駅利用600円、それ以外400円 ● 割引適用後：大甕駅利用500円、それ以外300円 ※ 運賃の割引は、地域負担金を支払った坂下地区の住民または協力金を支払った利用者を対象
その他	● 運行は電鉄タクシーに委託

午前	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便	第8便
	8:00 ～8:30	8:30 ～9:00	9:00 ～9:30	9:30 ～10:00	10:00 ～10:30	10:30 ～11:00	11:00 ～11:30	11:30 ～12:00
午後	第9便	第10便	第11便	第12便	第13便	第14便		
	12:00 ～12:30	※12:30 ～13:30 は連休	13:30 ～14:00	14:00 ～14:30	14:30 ～15:00	15:00 ～15:30	15:30 ～16:00	

運行区域



運行車両

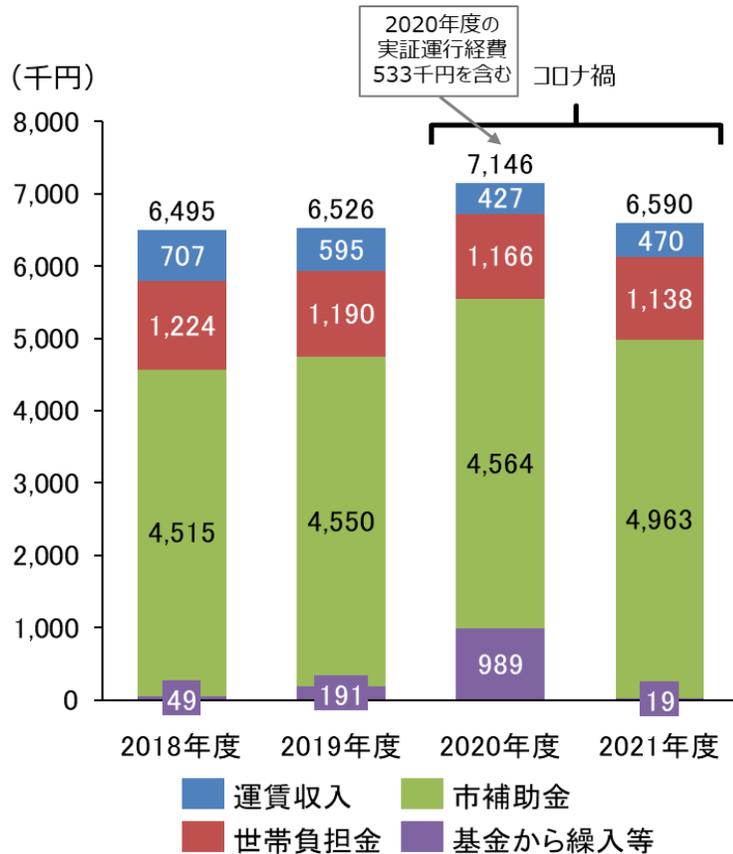


(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

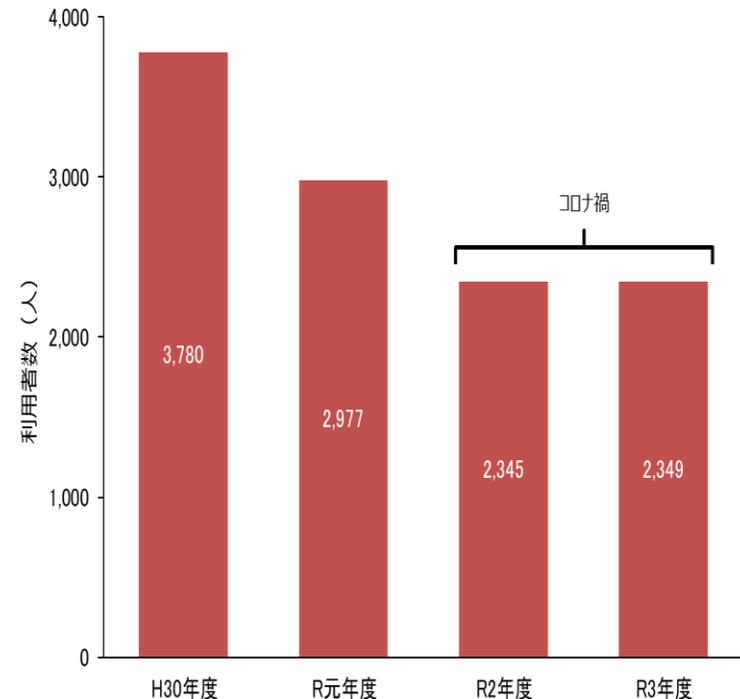
【地域公共交通利用状況調査】⑥地域公共交通の運営状況（みなみ号）

- コロナ禍前から減少傾向（R元年度：32%減（H26年度比）、R3年度：23%減（R元年度比））
- 沿線地域の人口、世帯数の減少により、世帯負担金の支払世帯数も減少傾向
- R4年度に予約型運行へ移行したが、以降前より利用者数が落ち込んでいる。

収入状況



利用状況

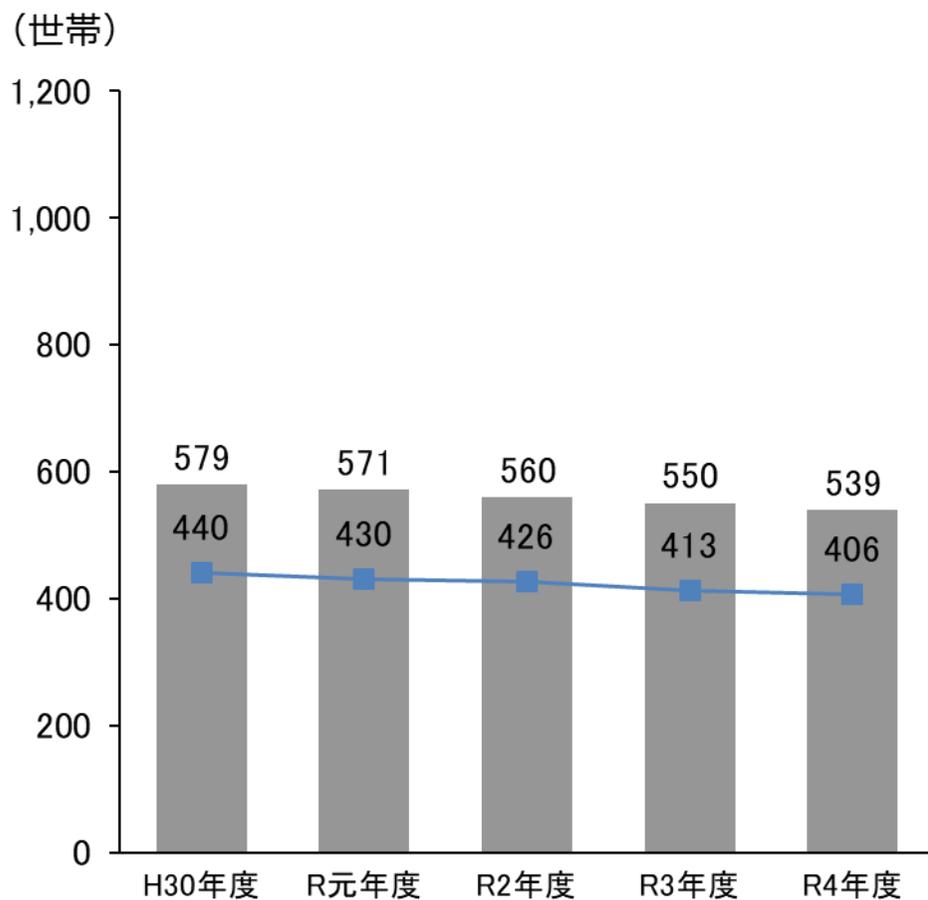


(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【地域公共交通利用状況調査】⑥地域公共交通の運営状況（なかさと号・みなみ号地域の世帯数）

なかさと号沿線地区

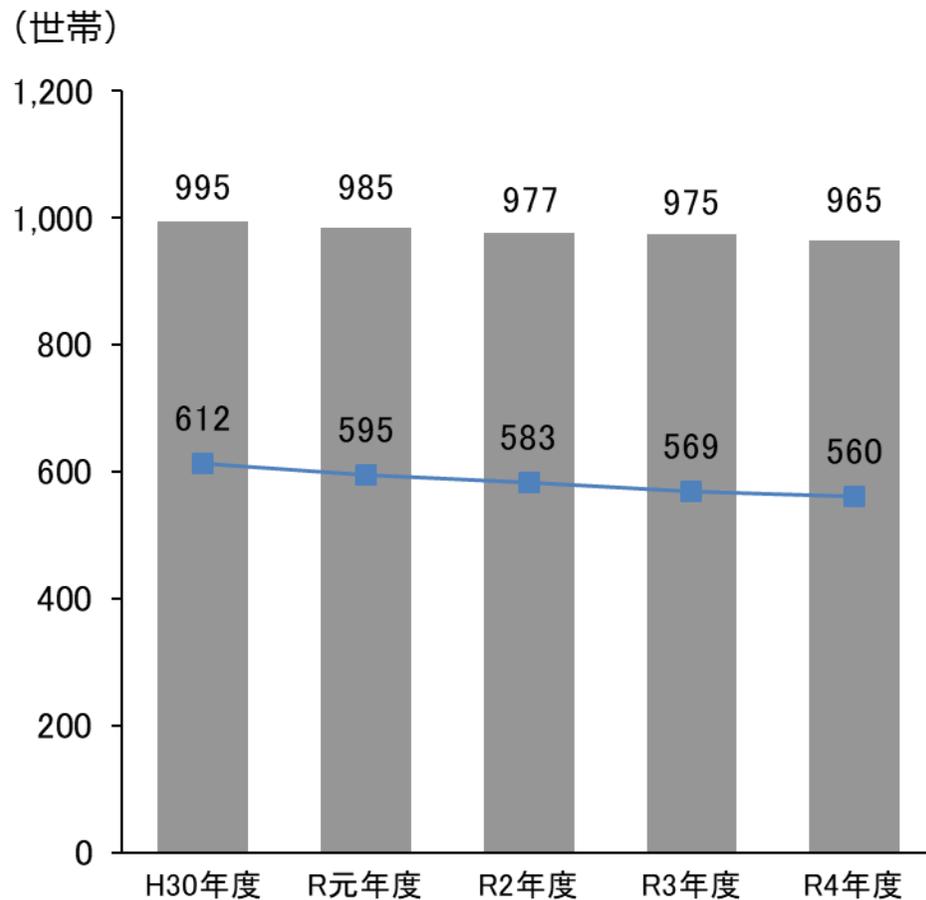
（入四間町、中深荻町、下深荻町、東河内町）



■ 全世帯 ■ 負担金支払世帯

みなみ号沿線地区

（茂宮町、大和田町、神田町、下土木内町、留町）

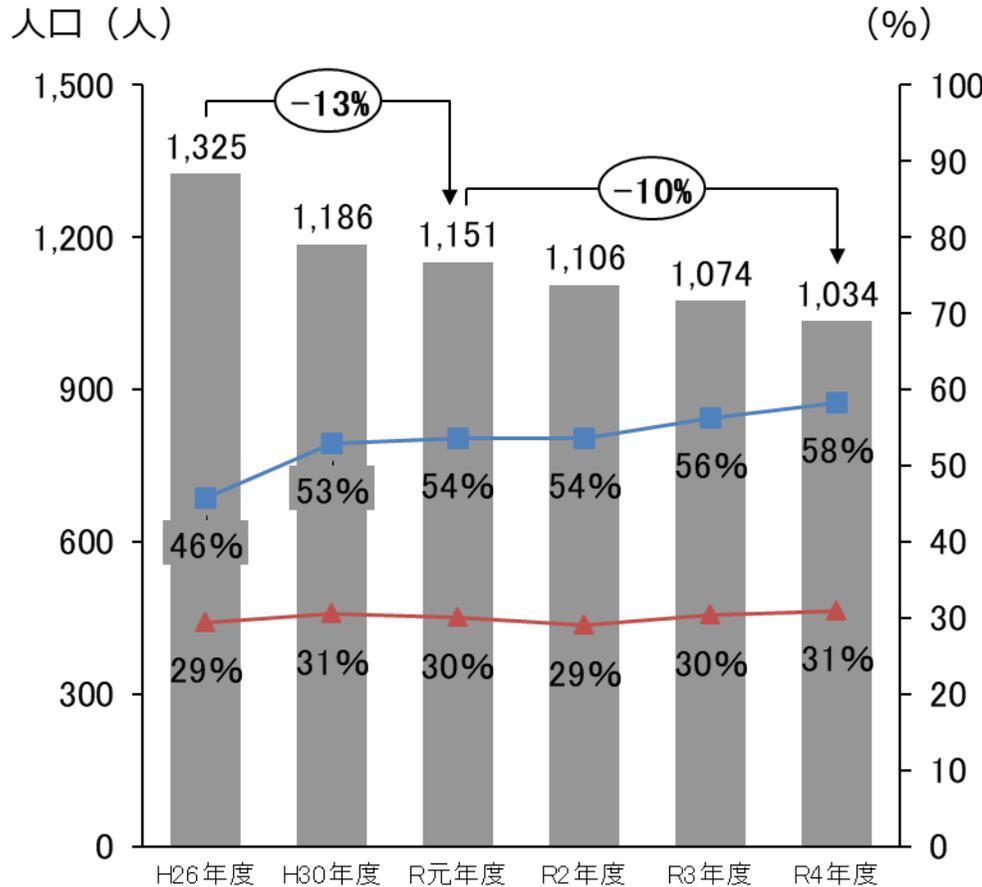


■ 全世帯 ■ 負担金支払世帯¹⁷

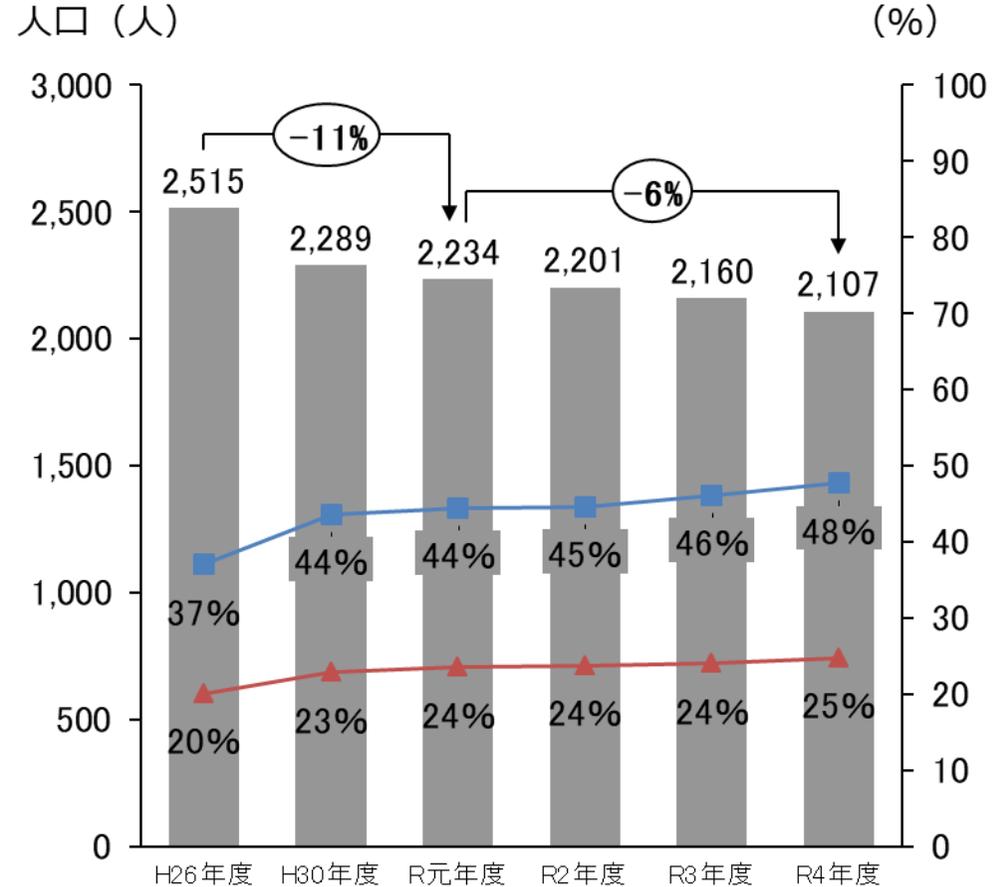
(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【地域公共交通利用状況調査】⑥地域公共交通の運営状況（なかさと号・みなみ号地域の世帯数）

なかさと号沿線地区
(入四間町、中深荻町、下深荻町、東河内町)



みなみ号沿線地区
(茂宮町、大和田町、神田町、下土木内町、留町)



■ 全人口 ■ 65歳以上割合 ▲ 75歳以上割合

■ 全人口 ■ 65歳以上割合 ▲ 75歳以上割合

(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【その他の取組状況調査】 ⑦金沢学区地域モビリティ実証事業（令和3年度）

運行概要

実施主体	● 金沢学区コミュニティ推進会
事業費	● 5,053,800円 内訳：4,000,000円（市補助金） ※茨城県「公共交通空白地域支援事業費補助金」を活用（補助率1/2） （補助期間：令和2年度から令和4年度までの3年間） 253,800円（金沢交流センター事業費） 800,000円（事業協力会費 1000円/月×200人×4月）
運行期間	第1期：2021年11～12月 第2期：2022年1～2月
運行時間	● 9～16時
使用車両	① グリーンスローモビリティ（4人乗り）2台 ※ エナジーシステムサービスジャパン社製（ドア付） ② 金沢交流センター公用車 1台 ※ いずれも、地域住民（金沢交流センター協力員）を運転手とする。
運行方法	● 運行範囲（金沢学区）内における予約方式
利用対象者	● 事前に会員登録を行った金沢学区居住者（学区外居住者の利用を妨げない。）
利用方法	① 利用希望日の2週間前から前日までに、金沢交流センターへ連絡する。 ② あらかじめ設定された自宅付近の停留所（又は利用可能な便利施設等）から乗車し、目的地（又は自宅付近の停留所）で降車する。
利用料	● いずれの運行も料金無料（白ナンバーでの運行）
事業協力会員登録料	● 本実証事業に参加（利用）していただける者を会員として募集する。 学区内居住者 1ヶ月1,000円 学区外居住者 1ヶ月2,000円

運行範囲



運行車両

グリーンスローモビリティ



金沢交流センター公用車



(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

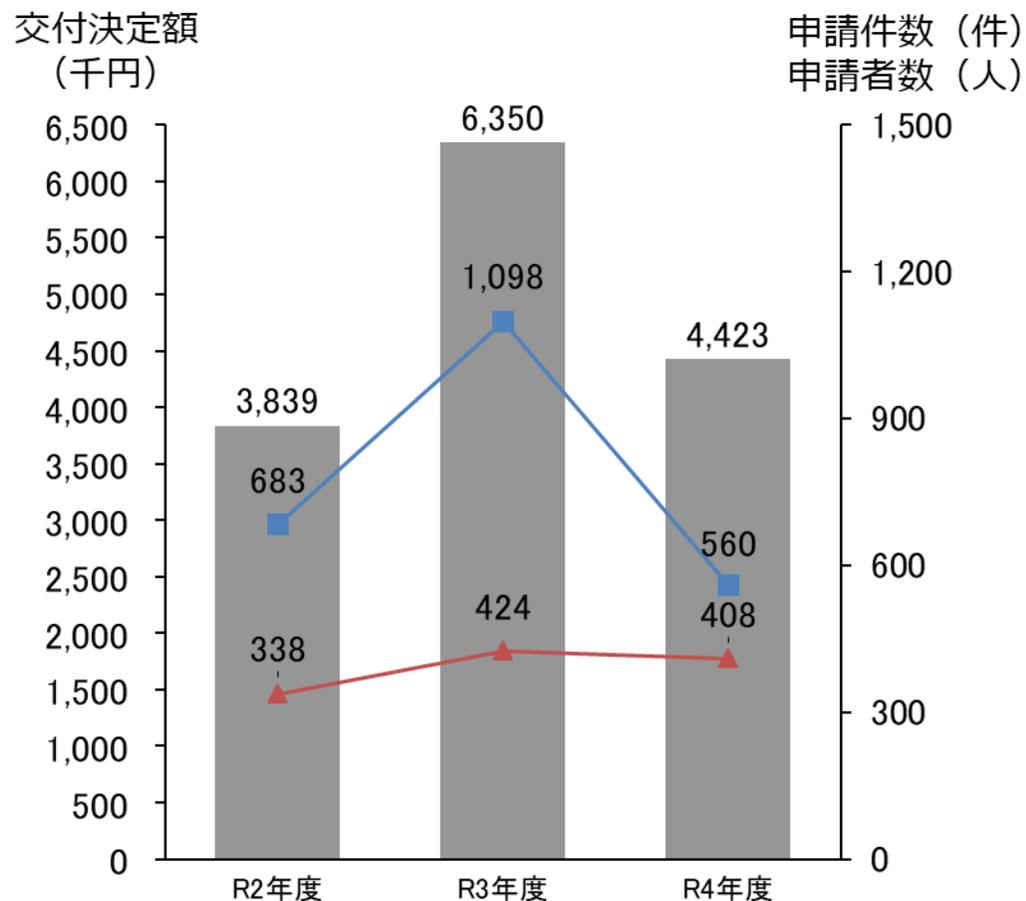
【その他の取組状況調査】 ⑧通学定期券購入助成制度

制度概要

➤ 本助成制度は令和2年7月から開始

助成の対象者	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学生、中学生、高校生の保護者で、日立市に住民登録がある方
交付条件	<ul style="list-style-type: none"> ● 日立市内のバス停を発地又は着地とする路線バスを利用して通学していること。 ● 市税などを滞納していないこと
対象定期	<ul style="list-style-type: none"> ● 日立市内のバス停留所を発地または着地とする路線バスの通学定期券で、各年度の申し込み開始から3月31日の間に有効期限がおさまるもの
助成額	<ul style="list-style-type: none"> ● 通学用定期購入費の3割（100円未満切捨て）

助成交付決定額と申請件数



※ 令和2年度は7～3月の合計

※ 令和4年度は4～7月の合計

■ 助成交付決定額 ■ 申請件数 ▲ 申請者数

(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【その他の取組状況調査】 ⑨ひたちBRT関連の取組

ひたちBRTサポーターズクラブ

- ✓ 住民、沿線にある企業・高校・商業観光事業者等が参加（31団体）
- ✓ 車両デザインやバス停の名称等を検討
- ✓ 観光や商業施設とのタイアップ
- ✓ 地域の活性化のための活動を展開



ひたちBRTサポーターズクラブの様子

ひたち
BRT



hitachi
BRT

ひたちBRTの携帯時刻表

利用促進への取り組み

- ✓ ひたちBRTの携帯時刻表の作成
- ✓ バスマップの作成
- ✓ ウォークラリーイベントの開催



ウォークラリーイベントの様子

(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【その他の取組状況調査】 ⑨ひたちBRT関連の取組

◆ 2022年4月 ひたちBRTのイメージキャラクターが誕生！



名前：ビアルっち

日立市のシンボルである桜をイメージ
一般公募でキャラクター案を募集



(4) 路線バス運営状況等の把握・分析

【その他の取組状況調査】 ⑨ひたちBRT関連の取組



平成30年度実証

- 小型バス（ポンチョ/着席定員8名）
- 走行距離：約3km
- 信号協調/人感センサー（1か所）



令和2年度実証

- 中型バス（エルガミオ/着席定員25名）
- 走行距離約10km
- 路側センサー（人と車）（3か所）



令和3年度

- 自動運転での営業運行に向けた車両・システムの開発・準備

令和4年度実証

- 自動運転レベル4車両にて走行実証（令和5年2月）

自動運転での営業運行（令和5年度以降）